

# 弊社の取り組みについて

有限会社奥進システム 奥脇 学

# レジュメ

1. 業務紹介
2. 障害者雇用のきっかけと現状
3. 弊社の就労支援などの取り組み
4. 弊社のワークライフバランスの取り組み
5. システム屋として社会に対してできること  
(経営理念を目指すために)

# 1. 業務内容

- 受託ソフトウェア開発業
- お客さんからの要望を聞き、1からプログラムを製造する。
- 特にWeb技術に特化  
(Webブラウザで使用できるもの)
- 顧客管理システム
- 受発注管理システム
- ショッピングサイト

## 2. 障がい者雇用のきっかけと現状

- ・大阪市職業リハビリテーションセンターからの紹介
- ・在宅勤務希望(ここが一番のポイント)
- ・「社会と関わっていたい」という強い希望
- ・状態はかなり悪く見える。
- ・駄目で元々、3ヶ月施設内実習

## 2人目以降

### 頌椎損傷のスタッフ

- 職リハの後輩

2007年9月:らんぷのともしび大賞(エクステンション大賞)

### 内部障がい(透析)のスタッフ

- 短時間勤務

### 精神障がいのスタッフ

- 振り返り、細かなフォロー

- フォローできるような自社システム開発

## 弊社の現在の雇用状況

- スタッフ6名
- 障がいを持つ方: 4名
  - 頸髄損傷: 2名、内部障害(透析): 1名
  - 精神障害: 1名
- 一人親家庭の母親: 2名
- 精神障害、広汎性発達障害: 2名長期実習中

### 3. 就労支援などの取り組み

- 実習の受け入れ
- 助成金の活用
- 中小企業家同友会の活動
- その他、いろいろ……

# 実習の受け入れ

- プラクティカルジョブサポート(おたふく会)
- 外国人(インド)(システム開発ノウハウ)
- 発達障がいを持つ人、バイト
- うつ病、バイト(状態をみて正社員候補)
- たまがわ高等支援学校
- NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク
- ネクストステージLLP

# 助成金の活用

- 以前は助成金などは活用しない方針
- YKK六甲、江口社長からの助言
- 手間をかけても活用して情報発信する方針に
- 障がい者雇用の助成金について(HPで紹介)

# 中小企業家同友会の活動

- 大阪府中小企業家同友会、障がい者部会
- 中小企業障がい者実習受入体制システム構築
- 中小企業の障がい者雇用への理解促進運動
- 第16回障害者問題全国交流会 in 大阪

2012年9月13日 & 14日開催に向けての運動

## 4. ワークライフバランスの取り組み

- テレワーク推進フォーラム会員
- 2011年1月：第11回テレワーク推進賞  
「テレワーク推進賞、奨励賞」受賞
- テレワーク事例報告（事業継続とテレワーク in 大阪より）
- 一人親家庭の支援
- 2011年10月：第2回ハッピーキャリア企業表彰  
「wiwiw賞」受賞
- 在宅勤務、短時間勤務、定時退社促進など

## 5. システム屋として社会に対してできること

- HPボランティア作成  
(全国LD親の会、大阪LD親の会「おたふく会」)
- サポートツールDB参画、つうるぼっくす運営  
(<http://www.jpald.net/research/> )
- うえぶサポの提供 (<http://support-book.jp/>)
- 精神障害者就労支援システムをJSNさんと連携
- 就労継続支援施設さん向けシステム提供開始

# まとめ(経営理念)ついでにできる社会貢献

## ・基本理念

私たちと、私たちに関わる人たちが、  
とてもしあわせと思える社会づくりをめざします。

## ・経営理念 進取・自立・奉仕

### 奉仕

経営活動を行ううえで、社会に対し出来ることは「ついでに」積極的に取り組んでいこうという意味です。

「ついでに」というのは「常に意識をもって」ということで、社会に対する私達の役割、そして意味、また周りの環境で最大限弊社が出来ることを常に心がけて実行しようという意味です。

けっして奉仕活動ばかりしようという意味ではなく、経営活動を行ううえで社会に対し、顧客に対し、取引先に対して「出来ること」を常に考えて、そして惜しみなくその労力を使おうという意味が込められています。